

冬になつて母親の考へる事

戸野みちる

私どもには子供が九人ございますが、唯今一番末の子が中學に行つてゐる程で、もうすつかり大人になつてしまひましたから、幼い子供に對しての注意などは、忘れられたやうになりました。けれども娘や息子には初孫が生まれまして、經驗の少い若夫婦の爲めに、何かと云ひきかせる事が多うございますから、そんな事でも話させて頂きませう。

子供には洋服を著せる事にしたと思ひます。洋服の經濟的なこと、便利な事は、もう何人も認めてゐまして、初めは知識階級とか、或は上中流階級とかの子供は洋服を著てゐましたが、今年あたりからは子供洋服の宣傳といふものは、服裝改良の聲と共に、家庭の隅々にまで這入つてまゐりました。その爲めか今年の夏頃には、洋服を著せさうもないやうな家庭からさへ、洋服著た子供が出入してゐるのを見て、非常に喜んで居りました。

ところが、秋になり冬になるにつれて、洋服を著

てゐる子供はずつと數が減りまして、二三人しか見あたらずやうになりました。之は云ふまでもなく、冬服は夏服のやうにお安く出来ないのだ、今迄の習慣から推して見て何だか洋服は寒さうだ、などと思ふ方々もある爲めだらうと存じます。

決して洋服は冬だつて和服よりも寒いことはなく、仕立方が和服と異つてゐて體にしつくりと合ふ様に出來てゐますから、風のはいる隙もなく却つて暖かでございます。又冬の洋服を安く仕立てるには、これからの若い方々に大いに工夫して頂きたいもので、私が關係して居ります生活改善同盟會などに於ても、冬の洋服をごく安くつくる事を工夫して居ります。

私が娘を嫁入らせました時にも、ミシンを嫁入道具の第一に入れましたのも、子供に洋服を著せさせたからでございます。娘は子供が生まれすと直ぐから洋服を用ひさせて居ります。赤坊に洋服は不便

だなどと云はれる方もありますが、決してさうでないこと云つて、娘は喜んで居ります。洋服の簡單なものも、ミシンを以て自分でつくつて見るのを楽しみにして居ります。

私の妹も私に似ましたのか子供が澤山ございますが、よく宅に来て云ひますのに、女の子は長い袖の著物等をきせると、直ぐ顔をなでたり、髪をいぢくつたり、おしやれしたがるが、今日は洋服ですよ、と云ふとさつさと著て、活潑に、なりふりかまはず出歩くとして大變洋服の效能を云つて居ります。

先づ、お正月も間近になりましたが、新年からは冬でも子供は洋服にする事にいたしましたうございませう。お正月で思ひ出しましたが、お正月の四方拜の式について一寸考へて居ることもございます。

元日の朝に主婦や母親の忙しさは申す迄もありません。それにお寒さのきびしい時でございませうから、子供に風邪をひかせぬやうにしようと思ふと、これも亦大變でございます。それで一日の四方拜に、お雑煮を食へさせて、風邪をひかせぬやうに暖く著物をきせて、學校へ送り出すといふのは大した騒ぎで、父母兄弟互にゆつくりお雑煮を祝ふ事は、とてもし

て居られませぬ。

私どもが、深川に居つた事がございましたが、深川のやうな下町の商家では、大晦日からのごたくで、元日も朝の御餅が遅いものですから、子供達は、大抵學校の四方拜には缺席してゐるやうでございませう。けれども先生方はきちんとして四方拜を九時から始められてゐたやうでした。

皆さまは何とお考へ遊ばすかしれませんが、元日の四方拜は名ばかりのものになりちつともゆつくりした落付いた氣持がなくて、お役はたしに出かけて行くやうでは、眞の意味がなくなりませう。それですから、いつそ四方拜をなくなして、家庭で祝ふやうにしたらどんなものでございませう。

もし今迄の習慣として廢することがむづかしいならば、午後からでもゆつくり集つて來るやうに致してはいかゞでせう。尤も近年は四方拜は十時になつて、一時間遅れたやうでございませうが、それでも大した差はなからうと存じます。

殊に幼稚園に於て四方拜を行つて居りますところは、これこそ廢した方がよからうと存じます。小さい子が寒いのに著物をきかへて、朝早く出掛けてゆくのは、ほんさに母親も子供もつらい思ひをしなればならないからでございませう。

先づこんなところで、御免蒙らせて頂きます。皆様のお話の方が却て承りたく存じて居ります。